

付録A 日本語入力の方法

ここでは、日本語入力の基礎を説明する。半角英数字・記号の入力および文字の修正等については、2.1.2-(1)(2)も参照のこと。

A.1 実習室端末・図書館OPAC専用端末での日本語入力： FM-Rパソコンの場合

実習室端末：「★☆☆金沢大学情報処理センターメニュー☆☆」での選択によって(a)(b)の2通りの方法がある。

(a) 実習室端末のメニューで「2 一般情報処理 (MSIME)」を選んだ場合

実習室端末のメニューで「3 UNIX (マニュアル検索・メールを含む)」を選んだ場合
マイクロソフト社の日本語変換プログラムが動く（これは、MS-DOS・MS-Windowsに標準で添付されているものと基本的に同じソフトである）。

(1) ローマ字入力の場合（日本語変換の呼出しと解除）

かな漢字キーを押し、画面右下に「**連全あ?**」と表示させる。この状態でローマ字入力をすると自動的にかなに変換される。（解除も同様）

(2) かな入力の場合（かな入力 \longleftrightarrow ローマ字入力）

(1)の作業の次に、**CTRL**キーを押しながら**ひらがな**キーを押し、画面左下が「かな 全」となれば入力できる。（(1)の状態に戻るときも同様）

(3) かな漢字変換

変換キーを押す。字が違う場合はもう1度押す。変換の候補が複数表示されるときは、マウスが**↓** **↑** キーで選択する。次にリターン・キーを押す。

(4) カタカナの入力（ひらがな \longleftrightarrow カタカナ）

カタカナキーを押すか、画面右下の「**連全あ?**」の「あ」の字をクリックして「ア」とすると、以降入力するとひらがなに変わってカタカナとなる。ひらがなに戻すときは**ひらがな**キーを押すか、「**連全ア?**」の「ア」の字をクリックして「あ」とする。

(5) 全角と半角の切り替え（1 2 3 a b c # % \longleftrightarrow 123abc#%）

半角/全角キーを押すか、画面右下の「**連全あ?**」の「全」の字をクリックして「半」とする。全角に戻すときも同様。

(6) 辞書への単語登録メニューの呼出

単語登録キーを押す。（FM-Rパソコン以外は、日本語変換を呼出してある状態で**CTRL**キーを押しながら**F10**キーを押す、出たメニューから登録を選ぶ。）

(b) 実習室端末のメニューで「1 MSP (OAK)」を選んだ場合・

図書館OPAC専用端末 (FM-Rパソコン) の場合

富士通社の日本語変換プログラムOAKが動く。

(1) かな入力の場合（日本語変換の呼出しと解除）

ひらがなキーを押す、画面左下（または右下）が「かな」となれば入力できる。（解除も同様）

(2) ローマ字入力の場合（かな入力 \longleftrightarrow ローマ字入力）

(1)の作業の次に、**CTRL**キーを押しながら**ひらがな**キーを押す。画面左下が「かな (R)」となれば入力できる。この状態でローマ字入力をすると自動的にかなに変換される。（(1)の状態に戻るときも同様）

(3) かな漢字変換

変換キーを押す。字が違う場合は、正しい字が出るまでもう1度押す。

(4) カタカナの入力（ひらがな \longleftrightarrow カタカナ）

カタカナキーを押す。以降入力するとひらがなに変わってカタカナとなる。ひらがなに戻すときは**ひらがな**キーを押す。

(5) 全角と半角の切り替え（1 2 3 a b c # % \longleftrightarrow 123abc#%）

半角/全角キーを押すと、交互に切り替わる。

A.2 研究室や自宅等のパソコンでの日本語入力

それぞれのパソコンに組込んである日本語変換プログラムが利用できる。詳しくは、それぞれのパソコンやワープロソフトのマニュアルを参照。(MS-IMEならA.1(a)を参照)

〔日本語変換プログラムの呼出しと解除〕

- (a) PC9801系 **XFER**キーを押す。(ワープロソフト「松」の場合は、A.3を参照)
- (b) DOS/V系 **Alt**キーを押しながら**半角/全角**キーを押す。(または**漢字**キーを押す。)
- (c) Macintosh アップル・キーを押しながらスペース・キー()を押す。
(スペース・キー：キーボード中央下の何も書いていないキー)

A.3 LAN端末エミュレータ・ソフトでの日本語入力／ワープロ・ソフト「松」での日本語入力

「LAN端末エミュレータ・ソフト」は、ワープロ・ソフト「松」に採用されている「松茸」という日本語フロント・エンド・プロセッサを組込んでおり、辞書に自分のよく使う単語を登録することもできる。また、「ATOK」など自分の好みのフロントエンド・プロセッサと取り替えることもできる。

A.3.1 日本語入力の開始と終了

日本語入力が必要になったら、まずパソコン(PC-9801)の**XFER**キーを押す。すると、日本語入力モードとなり、画面下のファンクション・キーの表示も以下のような日本語に変わり、次のように対応している。日本語モードを終了するにも、**XFER**キーを押す。

f・1	f・2	f・3	f・4	f・5	f・6	f・7	f・8	f・9	f・10
A↓	貼込	時刻	記号	複写	か変換	半角変	マ文字	半角	カナ

A.3.2 かな漢字変換

(1) 右下の端に「Rか」と表示されている状態では、ローマ字の全角入力ができ、入力したローマ字は自動的にひらがなに変る。ひらがなを漢字に変換するには、その文節の後にカーソルがある状態で**XFER**キーを押す。変換された漢字が正しければリターン・キーで確定する(または、そのまま続けて次の入力をして、確定される)。変換した漢字が正しくないときは、もう1度**XFER**キーを押す。

(2) 変換された部分の切り分けが正しくないとき(例：「かくていし」→「確定し」としたいのに「角停止」となったとき)は、**SHIFT** + **XFER**を数回押し、「かくていし」に切り分けられるようにする。正しく切り分けられたら、**XFER**を押して正しい漢字に変換する。切り分けられた部分の2カ所以上を漢字に変換するときは、前の1カ所で**XFER**を押して変換し終った後、カーソル移動キーの \rightarrow を押して次の部分に移り、再び**XFER**を押して次の部分を変換する。

(3) 熟語がなかなか変換できないときは、単漢字の変換をする。たとえば「積山」と出したいのに「せきやま」では「関山」にしか変換されない場合、「せき」と「やま」に分けて個々に変換する。「せき」の後(つまり「や」の上)にカーソルをあわせ、**CTRL** + **XFER**を押すと、画面下に候補漢字が表示されるので、選択したい文字にカーソルをあわせ(カーソル移動キーの \leftarrow か \rightarrow を押す)リターン。その画面に該当漢字がないときは、次画面に進む(カーソル移動キーの \downarrow を押す)。

A.3.3 カナ変換、半角変換、アルファベット入力

(1) 入力したひらがなをカナに変換するには、当該部分の後にカーソルがある状態で**F6**キーを押す(未確定でなければ変換できない)。

(2) 全角のカナ、数字、アルファベットを半角文字に変換するには、当該部分の後にカーソルがある状態で**F7**キーを押す(未確定でなければ変換できない)。

(3) アルファベット入力をする場合、全角文字なら**F8**を押してからタイプ、半角文字なら**F9**を押してからタイプする。元のかなモードに戻るのも同じキーである。